

開かれた政府をつくるプロジェクトシンポジウム

# “開かれた政府”はどうつくられるのか？

## ～これまでの政府の取組み事例

日時：2014年10月27日（月） 17時半～19時（開場 17時）

場所：衆議院第二議員会館多目的会議室

参加：事前申込不要、無料

主催：開かれた政府をつくるプロジェクト

日本ペンクラブ×自由人権協会×情報公開クリアリングハウスの共同プロジェクト

プログラム(内容に変更がある場合があります)

### 開かれた政府をつくるプロジェクトが目指すもの

三木 由希子（情報公開クリアリングハウス理事長）

【報告】

**オープンデータの取組み： 内閣官房IT戦略本部**

**予算執行の情報公開の取組み： 内閣官房行革推進本部**

### Open Government Partnershipの官民協働の取組み

ポール・マーセンさん（OGPサポートユニット市民社会コーディネーター）※ベルギーよりSkype参加

### コメント 日本のオープンガバメントとOGP

ローレンス・レペタさん（明治大学特任教授）

世界的に取り組まれているOpen Government Partnership（OGP）。政府と市民社会のパートナーシップにより開かれた政府を推進するというこの枠組みには、64か国が加入し、それぞれが国内アクションプランを公表し、国内改革を進めています。そして、このプロセス全体を通じて、市民社会の参加を重視していますが、日本は未加入です。

開かれた政府は、継続した改革のもとでつくっていくもの。OGPでの各国の取組みは、このことを示していると考えられます。そして、OGPの枠組みを通じてこの取組みが共有されることで、改革や改善が促進されていくとも言えます。さまざまな問題、課題はあり、すべてが解決できるわけではありませんが、開かれた政府を実現するための具体的な政策や仕組みをオープンに議論することは重要です。

これまで日本は、「開かれた政府」のために何に取り組んでいるのか。政府での事例について聞き、また世界手の取組みについて聞き、今後の取組みについて展望したいと思います。

連絡先 特定非営利活動法人情報公開クリアリングハウス

〒160-0008 東京都新宿区三栄町16-4 芝本マンション604

TEL.03-5269-1846 FAX.03-5269-0944 携帯 080-3714-7257 e-mail icj@clearing-house.org